

## 第2回 大型車の車輪脱落事故防止対策に係る調査・分析検討会 議事概要

1. 日 時：令和4年6月7日（火）15：00～17：00
2. 開催方式：WEB 会議方式
3. 出席者：伊藤委員、橋村委員、山口委員（代理：加賀美オブザーバー）、関根委員、荻原委員、田中委員、志村委員、柳川委員、古川委員、清水委員

### 4. 議事(概要)

#### 【説明】

#### 議題1 大型車の車輪脱落事故事例について

- 事務局より資料1を用いて説明。

#### 議題2 タイヤ脱着作業・保守管理状況に係る調査 ヒアリング調査（中間報告）について

- 事務局より資料2を用いて説明。

#### 議題3 大型車の車輪脱落事故に係る実証実験について

- 独立行政法人自動車技術総合機構交通安全環境研究所より資料3を用いて説明。

#### 議題4 海外における車輪脱落事故の実態調査について

- 事務局より資料4を用いて説明。

#### 【主なご意見・ご質問】

#### 議題1 大型車の車輪脱落事故事例調査について

- 令和3年度の車輪脱落事故は123件とのことであるが、どの程度、資料1のような事例があるのか。
- 国土交通省にて事故車両を確認したものは、写真のような事案が相当数確認されている。（事務局）

#### 議題2 タイヤ脱着作業・保守管理状況に係る調査 ヒアリング調査（中間報告）について

- 「ISOはタイヤの脱着がしづらくなった」（ISO方式であると、ディスク・ホイールとハブにすき間がなく固着しやすい）という意見について、JIS方式では、ホイール・ボルト、ホイール穴でセンタリングをし、回転の中心にホイールが合うような構造になっているが、ISO方式ではハブとホイールのはめ合い部（インローあわせ）で行うため、この部分のすき間が小さくなっている。インロー部に融雪剤や塩分が入り込むと、さび付き固着する可能性があるため、すき間にグリースを薄く塗布して、固着を防止するよう呼び掛けている。
- 「回転指示インジケータの活用について」（インジケータが入手困難）という意見について、大型車の自動車製作者4社のディーラーに確認したが、インジケータを入手できない事象は確認されていない。
- 適切なタイヤ脱着作業について、周知・啓発活動の重要性を認識している。
- 潤滑剤には様々な種類の潤滑剤が流通していると認識している。大型車のユーザーはより安価な潤滑剤を使用してタイヤ脱着作業を行いたいと思うが、安価で粗悪な潤滑剤が広く流通しているという認識でよいか。（事務局）
- 適切なホイール・ボルト、ナットの点検・清掃作業を行ったうえで、自動車製作者の定めた潤滑剤の使用を推奨しているが、安価な潤滑剤は一般的に広く流通している。多くの自動車製

作者が推奨している潤滑剤はエンジンオイルである。特に二硫化モリブデン入りの潤滑剤は、自動車製作者の想定より高いホイール・ナットの締結力を発生させ、周辺部品に悪影響を及ぼす可能性が高いことを注意喚起している。

### 議題3 大型車の車輪脱落事故に係る実証実験について

- JIS ではハブの摩耗状況の確認を主軸に安全訴求していたが、ISO ではホイール・ナットの締結を主軸に安全訴求するのか。今後の見解を教えてください。
- まずは市場より回収したホイール・ボルト、ナットについて、経過年数で締結力に差異があるのか確認したい。その上で適切なタイヤ脱着作業の徹底について、引き続き周知啓発を行う。(事務局)
- 令和2年10月の「大型車の車輪脱落事故防止対策に係る調査検討WG」中間取りまとめに記載されている「作業者のヒューマンエラーを前提としたハード対策の検討」も必要ではないか。
- 技術・知識を持った作業者によるタイヤ脱着作業の徹底について、本検討会において議論していただきたい。自動車工業会としては、並行して、ホイール・ナットの締め付け作業不良の予兆検知について、技術開発の検討に着手している。
- 近年、車輪脱落事故が急増していることが問題であり、原因究明や効果的な事故防止対策の検討が必要である。また、車輪脱落事故の急増の要因は ISO 方式の採用とも考えられるため、ISO 方式のホイール・ボルト、ナットの点検・清掃や潤滑剤の塗布に着目している。自動車製作者には具体的なハード対策を早く進めて頂きたい。(事務局)

### 議題4 海外における車輪脱落事故の実態調査について

- 海外調査結果の位置づけを考えて頂きたい。
- 海外調査においても、事故要因としてタイヤ脱着作業・保守管理状況に問題があると考えられ、防止対策として正しい作業の普及啓発に取り組んでいるとのことであった。国内の事故事例調査の結果なども鑑みると、適切な作業のさらなる啓発に取り組んでいくことが重要であると認識している。(事務局)

### その他

- ここ数年、ポスター、チラシなどを用いて適切なタイヤ脱着作業について周知啓発を行ってきており、一定の効果があると認識している。ただし、適切なタイヤ脱着作業の実施にあたっては、事業用運送事業者だけでなく、自家用事業者やタイヤ専門店、自動車整備事業者に対する啓発も重要。従来の周知啓発方法に限らず、さらなる啓発手段も検討する必要があると認識。そこで、「適切なタイヤ脱着作業」及び「適切な日常点検・増し締め作業」に関するPR動画を作成し、啓発することを検討している。交換すべきホイール・ナット等の状況についても動画で交換目安を明示してはどうかと考えている。(事務局)
- 動画を用いた周知啓発は、大変効果が大きいと考えている。
- 適切なタイヤ脱着作業の周知・啓発について、引き続き検討を進めて頂きたい。引き続き、ご協力させて頂く。